

エレクトロニクス部会ニュース

Vol. 5, No. 4 (通巻 No. 26)

平成 24 年 11 月 5 日(月)

部会ニュース Vol. 5, No. 4 (通巻 No. 26) をお届けします。内容は**次回幹事会**のご案内、**平成 24 年度第 4 回幹事会**の議事概要です。

第 3 回幹事会の主な議事内容は、「**化学工学**」誌トピックス委員、**平成 25 年度予算**、**化学工学会第 78 年会** 等についてです。また、**産業技術総合研究所 原 史朗氏**の御講演がありました。

訂正とお詫び

前号の部会ニュース (Vol. 5, No. 3) (2) 平成 24 年度第 3 回幹事会 3. 化学工学会第 44 回秋季大会 の記事

(岩手大)宇井幸一氏 「リチウム二次電池用負極材料の電気化学的作成」

とありますが、正しくは

(岩手大)宇井幸一氏 「リチウム二次電池用スズ系負極材料の電気化学的作製法」

です。ここに訂正いたします。皆様に誤った情報を流し、また宇井幸一先生には御不快に感じられましたこと、深くお詫び申し上げます。

(1) 平成 24 年度第 5 回幹事会

標記会議を次の要領で開催します。どうぞご出席ください。

1. 日時： **平成 24 年 12 月 4 日(火) 14:00~17:30**
2. 場所： 住友ベークライト(株)会議室
3. 議題： 本年度シンポジウム
第 4 回マイクロプロセッシング研究討論会
化学工学会第 78 年会 等

(2) 平成 24 年度第 4 回幹事会

日時：10 月 30 日(火)、

場所：住友ベークライト(株)会議室

出席者：近藤、荻野、高木、高橋、所、丸中、横澤、三平、北野

主な議事内容は次の通りです。

1. 「化学工学」誌トピックス委員

「化学工学」誌のトピックス委員を中村幹事から岡本幹事に交代することになりました。

2. 平成 25 年度予算

下記資料 1 を御覧下さい。

3. 平成 24 年度シンポジウム「リチウムイオン電池の新展開」

下記資料 2 を御覧下さい。

4. 化学工学会第44回秋季大会シンポジウム「エレクトロニクス材料とプロセス」
平成24年9月19日(水)に東北大学川内北キャンパスで開催されました。招待講演は2件で、講演者と講演題目は次の通りです。

(東北大)小柳光正氏「三次元実装技術の現状と課題」
(岩手大)宇井幸一氏「リチウム二次電池用スズ系負極材料の電気化学的作製法」

一般講演は13件でした。参加者は平均して30名ぐらいでした。

5. 化学工学会第78年会

標記学会が平成25年3月17日(日)－19日(火)に大阪大学豊中キャンパスで開催されます。講演申込は平成24年11月12日(月)－12月10日(月)です。先般当エレクトロニクス部会関連の講演分類の変更で関係者の皆様の手を煩わせたことでもありますので、どうぞ多数の講演申込をお願い致します。

6. 講演

産業技術総合研究所 原 史朗氏より「ミニマルファブ構想」と題する講演をして頂きました。講演終了後活発な質疑討論が行われました。

(3) 行事予定

1. 平成24年度シンポジウム

日時：平成24年12月3日(月) 13:00－17:30

場所：東京工業大学 デジタル多目的ホール

資料2を御覧下さい。

2. 化学工学会第78年会

日時：平成25年3月17日(日)－19日(火)

場所：大阪大学豊中キャンパス

講演申込：11月12日(月)－12月10日(月)

ホームページ：<http://www3.scej.org/meeting/78a/>

3. 第4回マイクロプロセッシング研究討論会

日時：平成25年5月17日(金)

場所：住友ベークライト株式会社

資料1

平成25年度 部会 収支予算書
(平成25年3月1日から平成26年2月28日まで)

(単位：円)

科目・内訳	H25年度予算	H24年度予算	予算差異
I. 経常増減の部			
1. 経常収益			
①会費収入	1,040,000	1,040,000	0

部会個人会員会費	0	0	0
部会法人会員会費	600,000	600,000	0
部会学生会員会費	0	0	0
個人賛助会員会費	140,000	140,000	0
法人賛助会員会費	300,000	30,000	0
②事業収入	610,000	610,000	0
シンポジウム収入	610,000	610,000	0
③分科会収入	0	0	0
④雑収入	0	0	0
⑤利息収入	0	0	0
⑥他会計からの繰入金	113,000	121,000	-8,000
部会交付金（本部より）	113,000	121,000	-8,000
秋季大会還付金収入	0	0	0
経常収益 計	1,763,000	1,771,000	-8,000
2. 経常費用			
①事業費支出	1,083,000	1,091,000	-8,000
シンポジウム支出	892,000	900,000	-8,000
研究報告会	191,000	191,000	0
②分科会事業費	0	0	0
③管理費支出	650,000	650,000	-0
会議費	500,000	500,000	0
旅費交通費	0	0	0
通信運搬費	70,000	70,000	0
消耗品費	15,000	15,000	0
印刷製本費	0	0	0
雑費	45,000	45,000	0
人件費（アルバイト）	20,000	20,000	0
④他会計への繰出金	30,000	30,000	0
化学工学会本部への繰出（含共催）	30,000	30,000	0
経常費用 計	1,763,000	1,771,000	-8,000
3. 当期経常増減額	0	0	0
正味財産期首残高			
正味財産期末残高			
II. 特定資産の増減			
1. 特定資産増加	0	0	0
2. 特定資産減少	0	0	0
3. 当期特定資産増減額	0	0	0
特定資産期首残高			
特定資産期末残高			

資料 2

シンポジウム「リチウムイオン電池の新展開」

環境と資源の関係から新エネルギーの開発が世界的規模でクローズアップされています。本シンポジウムでは最新の電池に関してプロセスと材料の最先端の開発動向について、各専門家に講演を依頼しました。産学協同のシンポジウムとして活発な討論を期待いたします。

・日 時 : 2012年12月3日(月) 13:00-17:30 懇親会 17:40-19:00

・会 場 : 東京工業大学 大岡山西9号館デジタル多目的ホール

〒152-8552 目黒区大岡山2-12-1

東急目黒線・大井町線大岡山駅下車徒歩1分 (正門を入れて右手奥、約100m先の建物 http://www.titech.ac.jp/about/campus/o_map.html?id=03 中の28番の建物)

募集人員 200名 申込先着順で、定員になり次第締め切ります。

参加費 : 当日受付にてお支払い下さい。領収書を用意します。

大学関係者・学生	無 料
エレクトロニクス部会個人会員、部会法人会員(賛助会員を含む)会社の社員	2,000 円
上記以外の化学工学会会員、エレクトロニクス実装学会会員	5,000 円
その他 一般	10,000 円
懇親会 (17:40-19:00)	3,000 円

講演

13:05-13:45	「リチウムイオン電池の発明と未解決課題」	旭化成(株)	吉野 彰氏
13:45-14:25	「リチウムイオン電池の市場事業戦略・技術戦略」	インフォメーションテクノロジー総合研究所	竹下秀夫氏
14:25-15:05	「次世代リチウムイオン電池用硫黄系電極材料」	産業技術総合研究所	竹内友成氏
15:05-15:30	休憩		
15:30-16:10	「リチウムイオン電池の負極材料の開発」	首都大学	金村聖志氏
16:10-16:50	「将来型リチウムイオン電池用電解液」	関西大学	石川正司氏
16:50-17:30	「革新的なリチウム-銅・空気電池」	産業技術総合研究所	周 豪慎氏

参加申込

下記の事項を記入の上、お申し込み下さい。

1. 氏名 (フリガナ要)
2. 勤務先住所 (所属部署まで)
3. メールアドレス
4. Tel/ Fax
5. 懇親会参加の有無
6. 会員資格 (大学関係者、エレクトロニクス部会個人会員・法人会員(賛助会員を含む)・化学工学会会員・エレクトロニクス実装学会会員・その他一般)

* 申込先 大阪府立大学・近藤研究室・山本 E-Mail: electro@chemeng.osakafu-u.ac.jp
Tel : 072-254-9304